

江戸前の地魚・魚介類の販売・イベントに関する調査

(1) 背景

東京湾再生推進会議は、東京湾がどのくらい「江戸前をはじめ多くの生物が生息する」のかを測るために、「江戸前の魚介類が回復し、江戸前の味や文化を享受できる海」の達成度を目安としています。しかし、現在のところ、東京湾の生物がどのように暮らし、人の生活とどうか関わっているのかといったことはあまり知られていません。

江戸前を味わう楽しさや感動の機会を通して、東京湾の漁業を取り巻く環境に関心をもち、より多くの人々が東京湾再生への取組に参加することを期待しています。

そこで、この指標では江戸前の地魚・魚介類の販売箇所数やイベント数の変化を把握し、東京湾の再生により健全な漁業が持続して、季節ごとに江戸前の魚介類が安定して供給されることを広くアピールしていきたいと考えています。

つきましては、皆様の団体が主催した「江戸前産品の販売・イベント」情報を教えてください。集計への協力をお願いします。

(2) 対象とする活動

江戸前の地魚・魚介類・加工品等の店舗やイベントでの販売を対象とします。

ここでは東京湾の自生種で漁獲対象となっている生物全般を江戸前と呼びます。

(3) 収集データ

江戸前の地魚・魚介類・加工品等の販売場所と店舗名（イベント名）、江戸前産品の種類など、わかる範囲で記入して下さい。

(4) 過年度のデータ

とりまとめた過年度のデータは、東京湾再生のための行動計画（第二期）の中間報告に活用されました。また、パネル（別紙参照）を作成し、東京湾大感謝祭で展示するとともに、東京湾再生官民連携フォーラム HP でも掲載しています。

(http://tbsaisei.com/pt/h29/index_report.html)

(5) 個人情報

ご記入いただいた個人情報は、本調査に関わる目的にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。

(6) 連絡先 ご不明な点は、下記までご連絡下さい。

東京湾再生官民連携フォーラム 事務局 指標活用 PT

e-mail : index_pt@tbsaisei.com

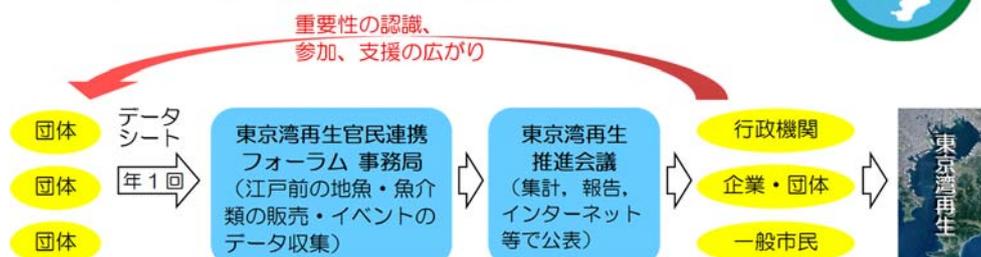


図 江戸前の地魚・魚介類の販売・イベントに関する調査の流れ

江戸前の地魚・魚介類の販売箇所数・イベント数

東京湾再生官民連携フォーラム 指標活用PT

「江戸前」の魚介類が回復し、「江戸前」の味や文化を享受できる海の達成に向けて江戸前を味わう楽しさや感動の機会、東京湾の漁業生産を取り巻く環境の改善の重要性をアピールするための指標です。

【集計結果】

江戸前の地魚・魚介類の販売箇所数 19箇所

江戸前の地魚・魚介類のイベント数 53件

イベントで多く売られていたのは、鮮魚だと、あじ、さば、いわし、たい、すずき、穴子など。海藻では、海苔、ひじき、ワカメ。イカ、エビ、あさり、はまぐり、ホンビノス貝もあったよ！



あさりご飯、穴子丼、焼き海苔、佃煮などの加工品もありますよ！



【回答団体一覧】 (50音順)

- 岩井富浦漁業協同組合
- 牛込漁業協同組合
- 江川漁業協同組合
- 木更津漁業協同組合
- 波左間漁業協同組合
- 富津市下洲漁業協同組合
- 船橋市漁業協同組合
- 横浜市漁業協同組合
- その他1団体



東京湾再生のための行動計画(第二期)とは【快適に水遊びができ、「江戸前」をはじめ多くの生物が生息する、親しみやすく美しい「海」を取り戻し、首都圏にふさわしい「東京湾」を創出する。】ことを目標として、東京湾に関連する関係省庁及び地方自治体からなる東京湾再生推進会議が平成25年5月に策定した計画。計画期間は平成25～34年度(2013～2022年度)までの10年間。

【年度ごとの推移】

